

新年度を迎えて

財団法人 ハワイ日本人学校
会長 石川 康彦

新入生の皆様、保護者の皆様、ハワイ日本人学校・レインボー学園へのご入園、ご入学おめでとうございます。在校生の皆様も、気持ちも新たに新年度を迎えられたことと思います。

ハワイ日本人学校は、昭和49年1974年に創立し、35名の生徒からスタートしました。そして開校からちょうど40年以上が経過し、2016年は30クラス、幼稚部136名、小学部402名、中学部85名、計623名の生徒が通学することになります。

ハワイ日本人学校では、日本語での教育を通して日米双方の文化を尊重する国際性豊かな子どもを育成し、日米の懸け橋となれる人材を育てることを教育目標としております。我々が住むここハワイという地は、異文化との調和を重んじ、人種・宗教間の対立の少ない社会として未来型グローバル社会の理想的な形態であると言われております。多種多様な価値観や思想に触れ、互いに尊重し合える環境の中で、生徒たちがレインボー学園での経験を通じてより大きな視野と異文化への寛大な心を育んでくれることを願っております。

学習面においては、日本語、特に平仮名・片仮名・漢字の習得には大変な労力を要することと思いますが、日本語の習得を通じて日本文化に対する理解もまた深めていくことができますし、本校で学習し習得した事は、それぞれのお子様がお持ちの夢の実現のために大いに役立つものだと考えております。生徒の皆様にとっては現地校の宿題、クラブ活動、習い事等との両立は容易なことではありませんが、是非頑張っただけで欲しいと思っております。また、ご家族からの励ましやご家庭での学習支援も非常に重要なことですので、保護者の方々へはこの場をお借りしてご協力をお願い申し上げます。

本校は、会員費・学期会費等の収入もさることながら、日本国政府からの補助、日本国総領事館のご支援、地元の日系企業・個人からのご寄付、保護者会・顧問・理事等のボランティア活動等々、各方面からの支えがあって運営されております。中でも、校舎を借用させて戴いているカイクミ中学校からの支援は非常に大きく、本校生徒並びに保護者の皆様には、「お借りしている」という意識を常にお持ちいただき、学校施設を大事に使用することを心がけていただきたいと思います。

理事会・運営委員会、校長及び教職員一同、学園を取り巻く環境や時代の変化に対応しつつも、長年培ってきた本校の基本理念を見失うことなく、保護者の皆様のご期待にお応えすべくより良い学園の構築と教育目標の達成に向け、新年度も尽力したいと思っております。引き続き、学校運営に対するご理解、ご協力とご鞭撻のほどお願い申し上げます。